

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	市民文化スポーツ局 スポーツ部 スポーツ振興課
評価対象期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

1 指定概要

施設概要	名称	北九州市立曾根臨海運動場	施設類型	目的・機能
	所在地	小倉南区大字曾根3267-2	I	— ②
	設置目的	スポーツの普及及び振興を図り、市民の心身の健全な発達及び明るく豊かな市民生活の形成に資する。		
利用料金制	非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制			
	インセンティブ制	有・無	ペナルティ制	有・無
指定管理者	名称	株式会社スピナ		
	所在地	八幡東区平野二丁目11番1号		
指定管理業務の内容	1 管理運営に関する業務 ・受付、使用許可に関する業務（利用調整、許可に係る業務） ・清掃、警備、建物等保守点検業務 2 その他管理運営業務 ・事業計画書及び収支計画書の提出 ・関係機関との連絡調整 ・地域や類似施設との連携に関する業務 3 利用促進に関する業務 ・イベントや広報活動等による利用促進など 4 自主事業 ・市民のスポーツ振興に資する事業（スポーツ教室等）等の実施など			
指定期間	令和3年4月1日～令和7年3月31日			

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント			
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み			
(1) 施設の設置目的の達成			
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。			
② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取り組みがなされ、その効果があったか。			
③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。			
④ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。			
【所見】			
利用者数	R 3年度	R 4年度	前年度比較
運動場	15,278	27,812	12,534
計	15,278	27,812	12,534
要求水準	40,000	40,000	
目標値	41,000	42,000	
※ ・・・評価対象年度			
【新型コロナウイルス感染症拡大に伴う休館日数】			
＜球場・運動場等＞ R3年度：93日（新型コロナ緊急事態宣言）			
・利用者数は28千人で、対前年比182%、+13千人となった。			
・他の運動場と連携し各施設で抽選漏れとなった団体等を積極的に受入れたことや、急な利用希望にも迅速したことが主たる要因と考える。			
(2) 利用者の満足度			
① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。			
② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。			
③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。			
④ 利用者への情報提供が十分になされたか。			
⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。			
【所見】			
【施設利用について】			
満足度	R 3年度	R 4年度	
目標値	90,0%	91,0%	
実績 (とても良かった ・良かった)	89.0% (32.6%・56.4%)	96.8% (60.6%・36.2%)	
【職員対応について】			

満足度	R 3年度	R 4年度
目標値	90,0%	91,0%
実績 (とても良かった ・良かった)	98.3% (34.3%・64.0%)	99.0% (62.8%・36.2%)

※ . . . 評価対象年度

- ・施設利用について、「とても良かった・良かった」の評価が96.8%で、職員対応について、「とても良かった・良かった」が99.0%となり高い評価を得ている。
- ・コミュニケーションを密に取ることで、利用者ニーズを汲み取れるよう心掛け、真摯に対応していること、また、すぐには実現できない場合には、理由や現状を丁寧に説明し、理解を得られるよう取り組んでいることが評価されたものとする。

2 効率性の向上等に関する取組み

(1) 経費の低減等

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取り組みがなされ、その効果があったか。
- ② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。
- ③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

[所見]

区分	R 3年度	R 4年度	前年度比較
委託料	237,367	469,810	232,443
修繕費	578,820	213,235	▲365,585
光熱水費	888,677	1,280,927	392,250
人件費	10,457,822	9,616,588	▲841,234
その他経費	345,029	381,412	36,383
合計	12,507,715	11,961,972	▲545,743

※ . . . 評価対象年度

- ・維持管理経費は前年度比で546千円の減少となった。
- ・軽微な補修等は自社対応することで、委託料等の削減を図った。

(2) 収入の増加

- ① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。

[所見]

区分	R 3年度	R 4年度	前年度比較
運動場	675,630	725,835	50,205
①実収入計	675,630	725,835	50,205

※ . . . 評価対象年度

- ・使用料収入は前年度比で50千円の増加となった。
- ・主な要因として新型コロナによる臨時休業がなかったこと等が考えられる。

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み

(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。
- ② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。
- ③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。

[所見]

- ・スポーツ施設の管理運営経験者を適正配置し、専門的な知識・技術を共有することで、職員全体の資質の向上、標準化に努めている。
- ・実技指導や講習会を開催しグラウンド整備の技術向上を図るとともに、「ひびきコスモス運動場」のグラウンドキーパーと相互協力体制を整えることで施設を良好な状態に維持している。

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

- ① 施設の利用者の個人情報を守るための対策が適切に実施されているか。
- ② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。
- ③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。
- ④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。
- ⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。
- ⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。
- ⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。

[所見]

- ・スピナグループ企業の教育プログラムやマニュアルも活用し、個人情報の管理、安全対策等に関する教育に熱心に取り組んでいる。
- ・施設の公共性・公平性を担保していく為に「条例に基づいた運営」を心がけ、利用者の平等利用に努めている。
- ・スピナ本社の管理スタッフによる「職場安全パトロール」や定期パトロール、また、施設間の事故事例や未然の防止策等の情報の共有化を図っている。

【総合評価】

[所見]

- ・利用者数は前年度より 13 千人、使用料収入は 50 千円の増加となった。
他の運動場と連携し各施設で抽選漏れとなった団体等を積極的に受入れたことや、急な利用希望にも迅速する等、利用者の確保に積極的に取り組んだ。
- ・施設利用、職員対応ともに高い満足度を得られている。
- ・軽微な補修等は自社対応する等の経費削減に取り組んだ。
- ・他施設のグラウンドキーパーと相互協力体制を整え、施設を良好な状態に維持している。

[今後の対応]

- ・今後も利用者から高い満足を得られるよう努めていただきたい。

